

令和5年7月12日
文教・福祉常任委員会資料
教育部学校改革推進課

(仮称) 西小倉地域小中一貫校整備事業に係る実施設計案について

資料 (仮称) 西小倉地域小中一貫校整備事業に係る実施設計案

(仮称) 西小倉地域小中一貫校整備事業に係る
実施設計案

令和5年7月
宇治市教育委員会

■目次

・はじめに	
・敷地、建物概要	01～02
・基本コンセプト	03～04
・(仮称)西小倉地域小中一貫校での学び	05～06
・施設の特徴	07～11
・工事工程計画	12
・配置計画図	13
・各階平面図	14～18
・立面図	19～21
・断面図	22～23

はじめに

宇治市では、平成24年度より全市で小中一貫教育を実施し、義務教育9年間を通して、児童生徒の発達段階に応じた系統的・継続的な学習指導や生徒指導を行うことにより、学力の充実・向上を図るとともに、豊かな人間性や社会性を育むことに努めているところです。

平成24年度に開校した宇治市で初の施設一体型小中一貫校となる宇治黄檗学園では、9年間の系統的・継続的な指導、子どもたちを包み込む保護者、地域の皆様の思いに支えられて、小学生にとっては、普段の学校生活の中で、中学生の姿から将来の理想像を見出し、中学生も小学生の姿にこれまでの自分を投影し、その目標となることで自己有用感を育みながら、施設一体型小中一貫校の特色を生かした小中一貫教育を進めています。

西小倉地域の児童生徒数の減少を踏まえて、令和元年12月に地域を主体として発足した「西小倉地域の小中学校のあり方検討委員会」から、3つの小学校(西小倉小学校・北小倉小学校・南小倉小学校)と西小倉中学校を統合し、小中一貫校として新設の学校の整備を求める要望を受けたことから、本市2校目となる(仮称)西小倉地域小中一貫校の整備に向けて検討を開始し、令和3年8月、開校場所を西小倉中学校敷地とし、令和8年4月の開校を目指すことを決定しました。

その後、有識者等で構成する「西小倉地域小中一貫校整備検討委員会」の学校部会において(仮称)西小倉地域小中一貫校の整備について、地域、保護者、学校関係者等と意見交換を重ねて、令和4年8月には、西小倉地域の核となる学校施設としての「(仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業に係る基本計画」を、令和4年12月には、「(仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業に係る基本設計」を作成し、現在、「(仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業に係る実施設計」の取りまとめに向けて作業中です。

このたび、(仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業に係る実施設計案をお知らせします。

1. 敷地概要

- ・地名、地番 : 京都府宇治市伊勢田町遊田 7 番地の 1
- ・敷地面積 : 23,739 m²
- ・グラウンド面積 : 13,017 m²

(1) 都市計画制限 (建物用途、構造・形態)

- ・第一種中高層住居専用地域 (指定建ぺい率 60%、指定容積率 200%)
- ・高度地区 : 第 2 種高度地区
- ・防火地域 : 準防火地域

(2) 都市計画制限 (自然景観・市街地景観保全)

- ・宇治市まちづくり景観条例 : G (市街地・田園・山麓・山間地区)
- ・宇治市屋外広告物条例

(3) 関係法令

- ・建築基準法、消防法、都市計画法、他

(4) 道路

- ・主な出入口となる敷地東側の門には、幅員約 5.8m の伊勢田町 68 号線 (42 条 1 項 1 号道路) が接続する。
- ・敷地北側の通用門には、幅員約 6m の伊勢田町 35 号線 (42 条 1 項 1 号道路) が接続する。

2. 建物概要

- ・主要用途 : 学校 (小学校・中学校)
- ・主要施設 : 校舎 (児童生徒数 小学校 650 人、中学校 300 人、計 950 人)
屋内運動場、25m プール、グラウンド
- ・構造 : <校舎> 鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・規模 : 地上 4 階
- ・建築面積 : 5,583.73 m²
- ・延床面積 : 16,187.32 m²
- ・最高高さ : 19.75m
- ・工事予定 : < I 期工事 > 令和 6 年 ~ 令和 8 年
< II 期工事 > 令和 8 年 ~ 令和 9 年
- ・開校予定 : 令和 8 年 4 月

3. 敷地および周辺の現況写真



校舎棟東門側外観イメージ



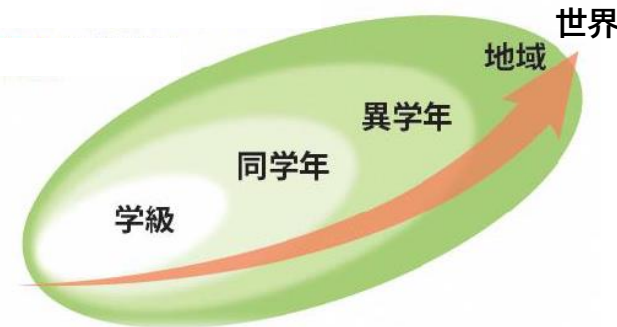
校舎・アリーナ棟グラウンド側外観イメージ



基本コンセプト

テーマ:「同学年から異学年、地域から世界へと広がる、探究力を高める学び舎」

学級の枠を超えて、同学年から異学年、地域から世界へと視野を広げ、好奇心や興味関心、探究力を高める学び場



1. 子どもたちが光り輝く小中一貫教育を推進する学校

○子どもたちの発達段階に応じた9年間を見通した系統性、連続性のある多様な教育活動を効果的に行える施設

- ・学年単位のつながりを深める学年ユニット
- ・発達段階に対応したフロアゾーニング

○多様な異学年交流ができ、9学年のつながりとふれあいで、互いに成長できる施設

- ・多様な仲間との一体感を高める動線計画
- ・異学年との学び合い・交流を広げるスペースの確保

■異学年の活動の様子が校舎全体から見渡せる構造により、一体感を持ちながら子どもたちが異学年や多様な学びへの関心を抱き、心身の成長と共に関係世界を広げていく探究力を育む

○主体的な活動の支援や豊かな創造性を引き出すなど主体的な学びを実現する、認知能力と非認知能力を一体的に育む教育を行える空間や施設

- ・自然を感じ、仲間とつながるスペースの確保

■児童生徒の作品を展示・鑑賞・発信することなどで刺激を受けたり、異学年の活動を身近に感じたりするなど、日常的なクラスや学年を越えた交流をとおして、仲間とのつながりを育むコモンズを配置

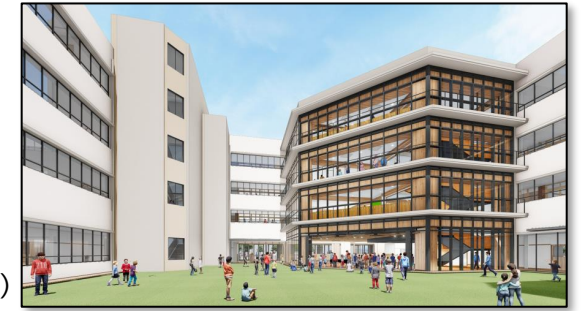


(コモンズイメージ)

・中庭を活かした開放的な交流・学びの場

- イベントや屋外学習等、柔軟で創造的な学びに対応できる交流ホールと一体利用可能な中庭を中央に配置
- 人工芝を敷いた中庭は、子どもたちが自由に座ったり、寝そべったりしてくつろいで交流できる場

(中庭イメージ)



○一つの学校として小中学校教職員が協働して機能し、学校運営の一貫性を確保できる施設

- ・職員室、校長室、保健室などの管理機能を集約配置し、職員室を小中一体の職員室とすることで教職員同士の連携を強化
- ・教師と児童生徒のコミュニケーションを深めるスペースの確保



■休み時間に気軽に子どもと教師が触れ合うなど、様々な交流を育む教師ステーションを配置

(教師ステーション・コモンズイメージ)

2. 多機能で変化に対応し、多様な教育課題に対応できる学校

○機能性や柔軟性、可変性を持つことにより、随時変化する多様な教育内容や教育方法に対応できる施設

- ・対話型授業にも対応できる、教室の機能性の確保
- ・多目的な活動が展開しやすいスペースの確保

○学校施設全体が柔軟で創造的な学びを実現できる空間であり、どこでも教育の場、表現・交流する場、心のゆとりと豊かさを育む場となる施設

- ・多様な交流が行えるスペースの配置
- ・校舎全体に光と風が行きわたり、自然を感じるができる環境づくり
- 図書室機能に加えて、ICT機器を活用し、子ども自らの探究的・創造的な学びを促すメディアセンターを整備



(2Fメディアセンターイメージ)



(3Fメディアセンターイメージ)

- ウィズコロナ・ポストコロナ時代において、すべての子どもたちに学びを保障する、新しい時代の学びを支える教育環境を提供できる施設
- ・GIGA スクール構想、ICT 教育など、新しい学びに対応できる教室環境の確保
 - タブレット端末を利用した学習や多正面学習、グループ学習など、個別最適な学びと協働的な学びがより発展していくゆとりのある教室を整備

- 黒板をホワイトボード化することで、子どもたちにとって、字の見えやすさと書きやすさが向上し、加えて、ICT 機器を活用した新しい時代の学びを促進



(ゆとりのある教室イメージ)

- 教育活動に必要な機能を確保しつつ、イニシャルコスト・維持管理コストの縮減を図り、長寿命化にも配慮した施設
- ・構造の合理化等によるイニシャルコスト・維持管理コストの縮減
- ・清掃・修繕しやすく長寿命化に配慮した計画

3. 安全・安心で、利用しやすく、子どもたちが楽しく通える学校

- 多様な発達段階の子どもたちが、のびのびと活動できる快適性と安全性を備えた空間や施設 (工事期間中の安全確保も含む)
- ・成長段階に応じた屋外活動スペース (メイングラウンド・サブグラウンド・屋外プレイエリア)
- ・児童生徒の安全に配慮した工事計画

- 学校生活の中で、集中とやすらぎの調和がとれた施設
- ・自然素材を活用し、温もりのある、心を落ち着かせる学習環境
- ・採光・通風を確保し、明るく快適な環境づくり

(中庭からの自然採光による
明るい廊下イメージ)



- ウィズコロナ・ポストコロナ時代における新しい生活様式や、防犯面、ユニバーサルデザインに配慮し、利用する誰もが安全・安心に過ごせる施設
- ・施設中央に中庭を設け、教室や共用部に風が通り抜けやすい屋内環境の確保
- ・見守りやすく、管理しやすいセキュリティ計画 (通用門・昇降口・グラウンドを視認しやすい職員室配置)



(昇降口イメージ)

4. 家庭・学校・地域が連携・協働し、互いの安心と信頼が生まれる、地域のシンボルとなる学校

- コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度と地域学校協働活動) を一体的に推進し、地域の教育力を積極的に活用した教育活動ができる施設

- 子どもたちの学びを地域ぐるみで支えることができる施設
- ・地域開放機能の配置
- ・地域の多様なイベントを開催できるスペースの確保
 - 地域コミュニティの核となる学校として、地域住民が利用可能な特別教室等をゾーニングし、地域とのつながりを創出

- 自然エネルギーの効果的利用などにより、持続可能な教育環境の実現に配慮した地域のシンボルとなる施設
- ・自然採光・通風による、空調・照明負荷の低減
- ・費用対効果の高い設備機器、環境技術の採用

- 地域防災や地域コミュニティの活性化の役割が担える地域の核となる施設
- ・避難所等の防災機能の確保
- ・避難所エリアと学校運営エリアのゾーニング
 - 災害時は、屋内運動場等の避難エリアと教育活動エリアの動線を分けたゾーニングを実施し、避難所としての防災機能を強化

(仮称) 西小倉地域小中一貫校での学び②

基本コンセプト

テーマ「同学年から異学年、地域から世界へと広がる、探究力を高める学び舎」

メディアセンター (3階)



プレゼンスペースから世界の児童生徒へ発信

仲間と協働して、メディアを使って調べ、まとめる

練習した合唱や合奏、ダンス等、取り組んだ成果を保護者に発表、地域の方をゲストティーチャーに招いた出前授業の実施

交流ホール



学習した成果や取組内容を地域・世界へ発信する

タブレット端末を活用し、他校の児童生徒と取組内容を交流

世界

地域

異学年

同学年

学級

縦と横のつながりで、広がる子どもたちの世界観

メディアセンター (4階)



出前授業や放課後学習会をとおして地域の方とつながる



コモンズ

メディアセンターとコモンズを一体利用し、本やタブレット端末を活用した主体的な学習

教室



地域と連携した取組にも活用

コモンズ



一人ひとりが問いを見出し課題を設定する

教室



メディアセンター (3階)



同学年・他学年の仲間にもメディアを使って伝える

メディアセンター (2階)

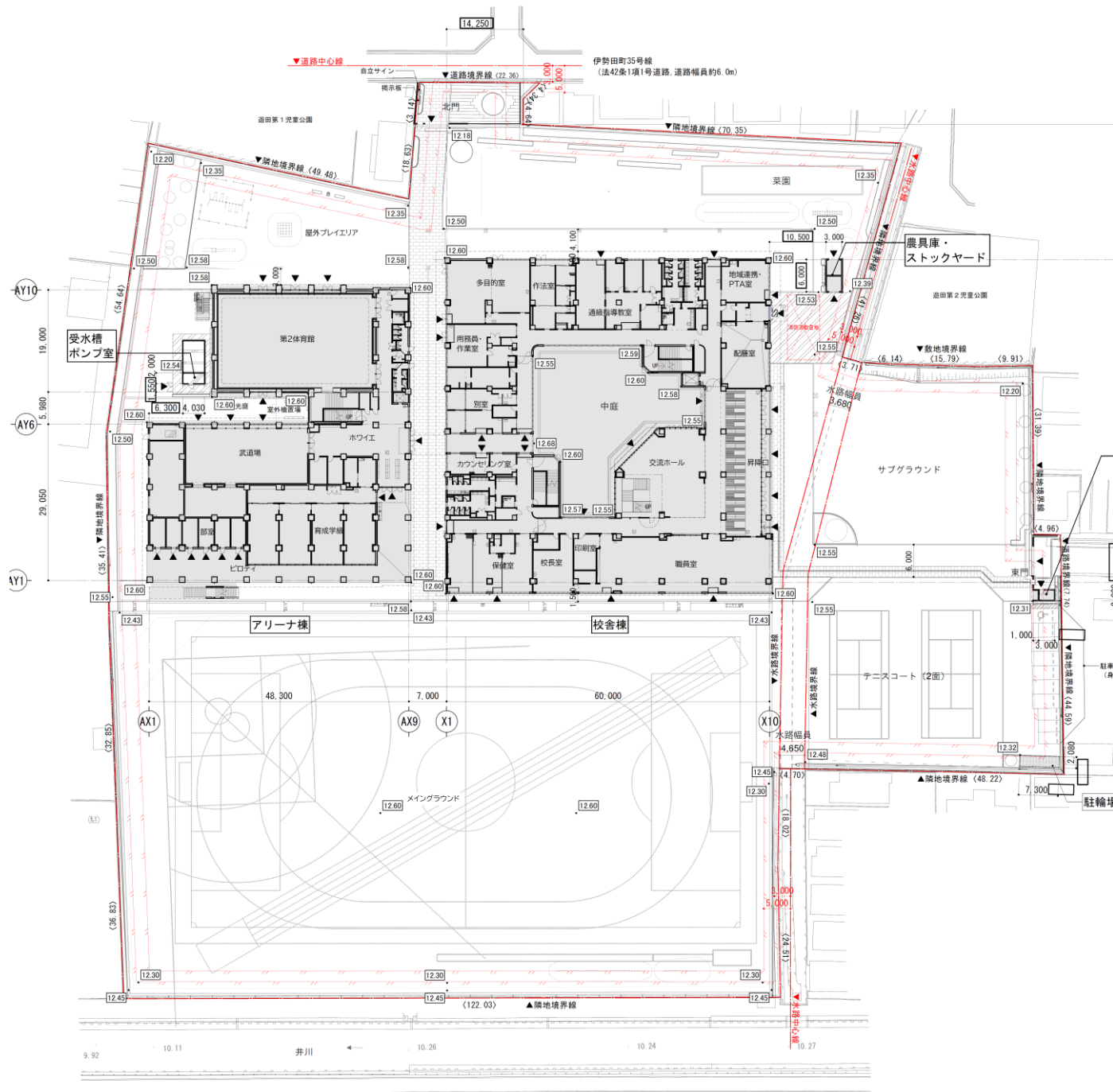


メディアセンターとコモンズを一体利用し、他クラスや他学年の児童生徒と交流

コモンズ



配置図



○敷地内の動線計画

- ・東と北に通用門を設置
- ・1～9年生が利用する広い昇降口を設置
- ・校舎棟北側・西側、交流ホールの3か所に階段を設置
- ・昇降口の反対側のピロティ部分に別室を配置し、直接出入りが可能。
- ・職員室・保健室からグラウンドへの出入口を設置
- ・地域連携・PTA室、多目的室等に外部からの出入口を設置

○屋外運動施設等

- ・屋外運動施設として、メイングラウンド、サブグラウンド、テニスコート、屋外プレイエリアを整備
- ・校舎北側敷地に遊具、菜園、緑地を整備

○管理諸室

- ◇校舎棟1階に集約
- ◇各室から多方面への視野を確保
 - ・校長室・保健室 → メイングラウンド、テニスコート
 - ・職員室 → 昇降口、サブグラウンド、テニスコート
 - ・通級指導教室、多目的室 → 屋外プレイエリア
- ・通用門に防犯カメラを設置

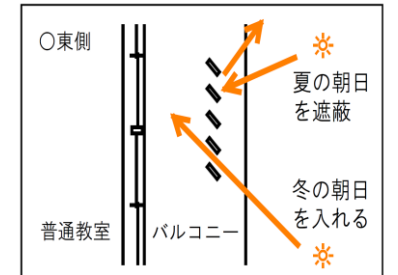
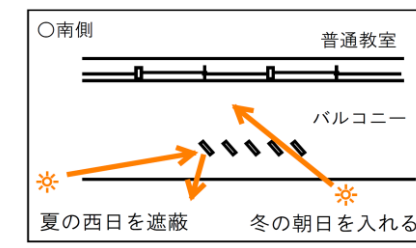
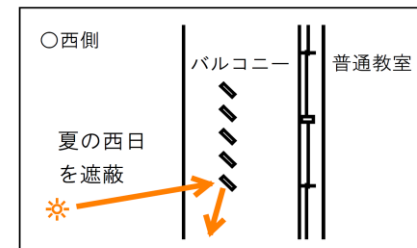
○育成学級

- ・アリーナ棟の1階に配置
- ・時間外対応のため、専用出入口を設置

○環境への配慮

- ・環境負荷の低減を目的として、ZEB Oriented を取得
- ・Low-e 複層ガラスの使用や外壁の高断熱化、バルコニーの庇・ルーバーによる日射遮断などで省エネ化を推進
- ・校舎棟の屋上に45kw規模の太陽光発電パネルを設置し、再生可能エネルギーを活用
- ・発電量などを表示し、児童生徒の環境教育の教材として活用

庇とルーバーの配置



・東側は、夏の朝日を約20%を遮蔽。

【1階平面図】 校長室・職員室など管理諸室を配置

主な諸室
【校舎棟】
 校長室、職員室、保健室、通級指導教室、交流ホール、多目的室・作教室、別室・カウンセリング室、配膳室、地域連携・PTA室 など
【アリーナ棟】
 第2体育館、武道場、育成学級 など

第2体育館
 ・小学校の体育館と同等の広さで、教育活動や学年集会等に活用できる。

多目的室・作教室
 ・可動間仕切りにより1室ごとの利用ができ、活動内容に応じて教室空間を柔軟に活用できる。
 ・多目的室と作教室との一体利用が可能。
【利用例】
 ①作教室をステージとした演劇鑑賞。
 ②作教室で点てるお茶を多目的室で楽しむ。など

地域連携・PTA室
 ・コミュニティ・スクールやPTA活動の拠点に活用する。

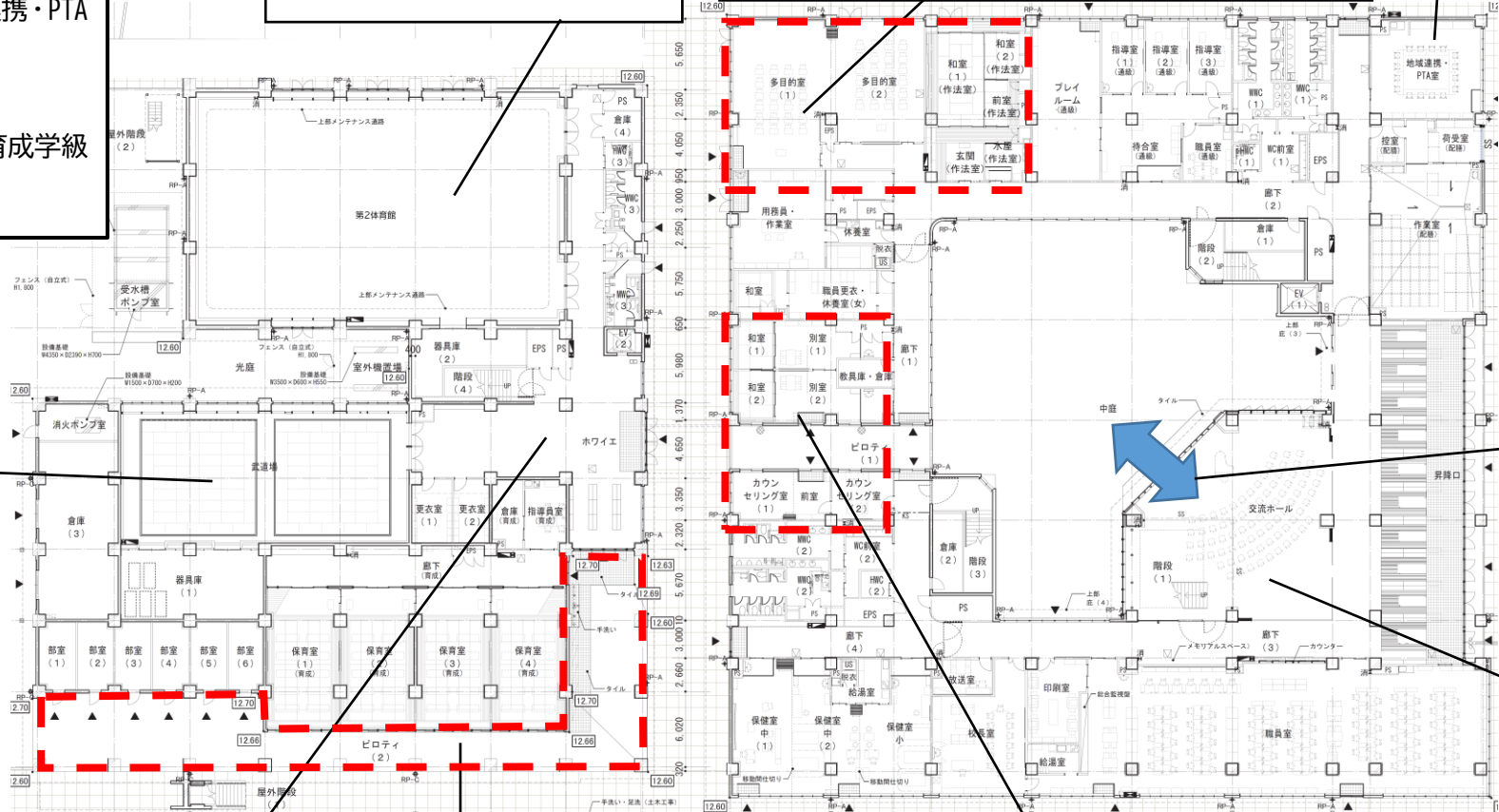


中庭と交流ホールの一体利用 (イメージ)

中庭と交流ホールの一体利用
 ・校舎全体から見渡すことができる回廊型校舎の特徴を活かし、中庭と交流ホールとの一体的な利用により、イベントや屋外学習等、学校教育活動の様々な場面で創造的な活動ができる。
 ・人工芝を敷いた中庭は、子どもたちが自由に座ったり、寝そべったりしてくつろいで交流できる場。

交流ホール
 ・学年集会や学習発表、吹奏楽部のコンサートなど様々な学校教育活動やイベントに活用できる。

武道場
 ・柔道の授業に加え、表現の授業(ダンスなど)、卓球等の屋内スポーツの部活動にも活用できる。



ホワイエ
 ・廊下部分を広くとった空間で、雨天時の部活動や、芸術作品の展示、地域との交流など様々な用途に活用できる。

ピロティ
 ・壁がなく開放的な半屋外の空間。
 ・雨天時の部活動や体育などの活動場所や、部活動等で日陰となる休憩場所としても活用できる。

別室・カウンセリング室
 ・直接外部から出入りが可能で、児童生徒や保護者の多様なニーズに対応できる。



交流ホール (イメージ)

【2階平面図】 1～3年生の普通教室を配置

【校舎棟】

1～3年生の普通教室、特別支援学級(小学校)、メディアセンター・commons、技術室、図工・美術室 など

【アリーナ棟】

第1体育館 など

小学校特別支援学級

- ・それぞれの教室内は可動間仕切りとなっており、状況に応じて柔軟な運用が可能。
- ・教室と教室前スペースの一体的な活用により、多様な活動に対応できる。

2階メディアセンター

- ・学校図書(主に小学校用図書)やタブレット端末などICT機器を利用して、課題を探究し、主体的かつ創造的で多様な調べ学習を行う。
- ・学校の中心にあり、どの教室からも行き来しやすい配置としている。
- ・廊下側の壁をなくし、開放的な空間にすることで、子どもたちの生活空間に溶け込み、自然と本に触れることができ、普段から本が身近になる教育環境を創出。
- ・くつろぎながら本が読めたり、読み聞かせを聞いたりできるスペースを設置する。

2階メディアセンターとcommonsの一体利用

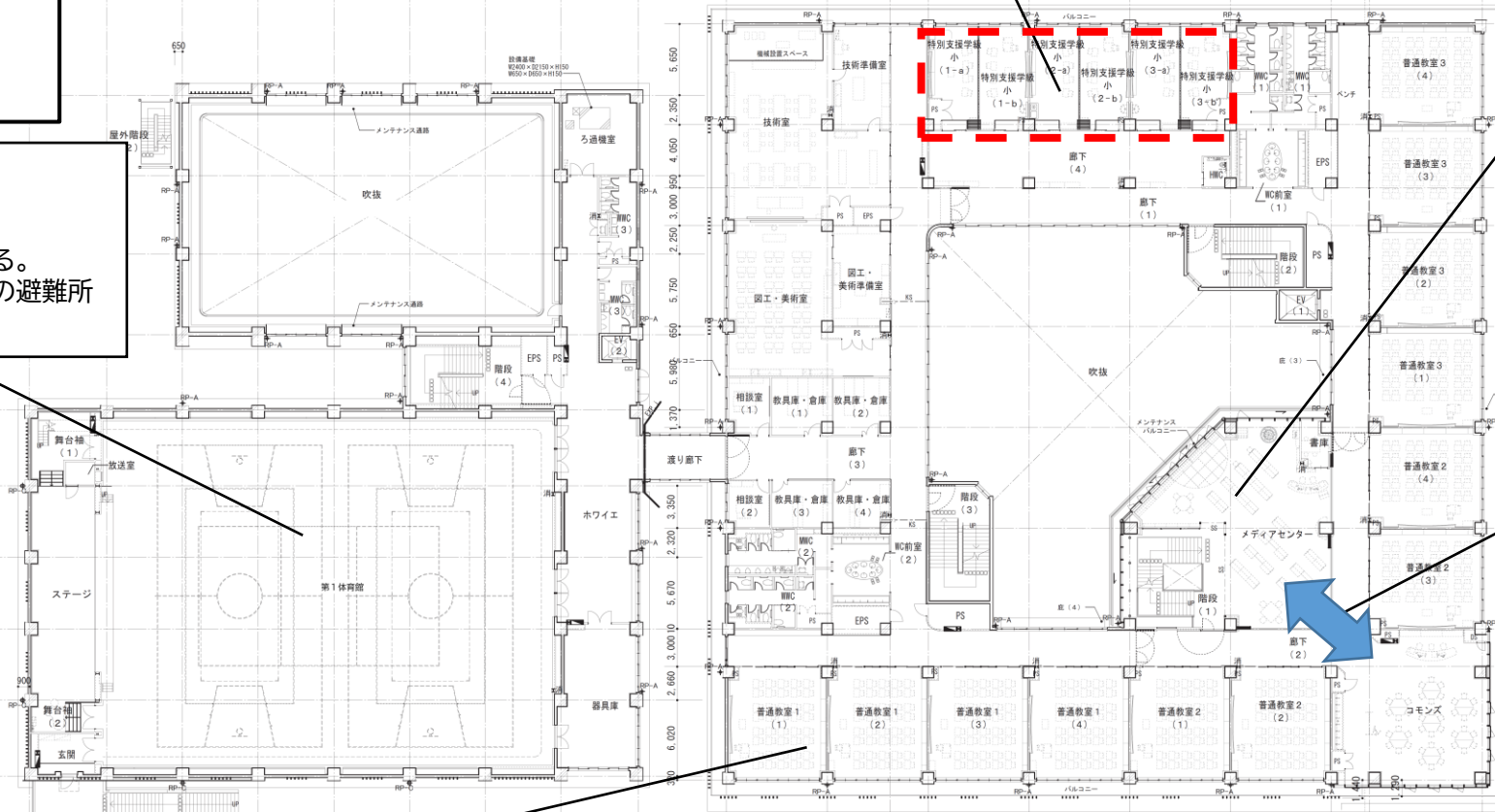
- ・メディアセンターとcommonsを一体利用することで「みんなと調べる」「話し合う」「まとめる・発表する」といった学習を効果的に行える。

第1体育館

- ・バスケットボールコート2面設置。
- ・全校児童生徒が集まることができる。
- ・2階に配置しているため、水害時の避難所としても活用できる。

発電設備

- ・防災機能面として、停電時に避難所機能を保つため、インバーター式発電機を設置予定。



普通教室 (72㎡)

- ・タブレット端末を利用した学習やグループ学習など個別最適な学びと協働的な学びを展開できるゆとりのある教室の広さ。
- ・各教室の黒板をホワイトボード化し、子どもたちにとっての字の見やすさと書きやすさの向上に加えて、ICT機器を活用した新しい時代の学びを促進する。

普通教室 (イメージ)



メディアセンター2階 (イメージ)



【3階平面図】 4～6年生の普通教室を配置

【校舎棟】
4～6年生の普通教室、メディアセンター・コモンズ、音楽室、調理室、被服室 など

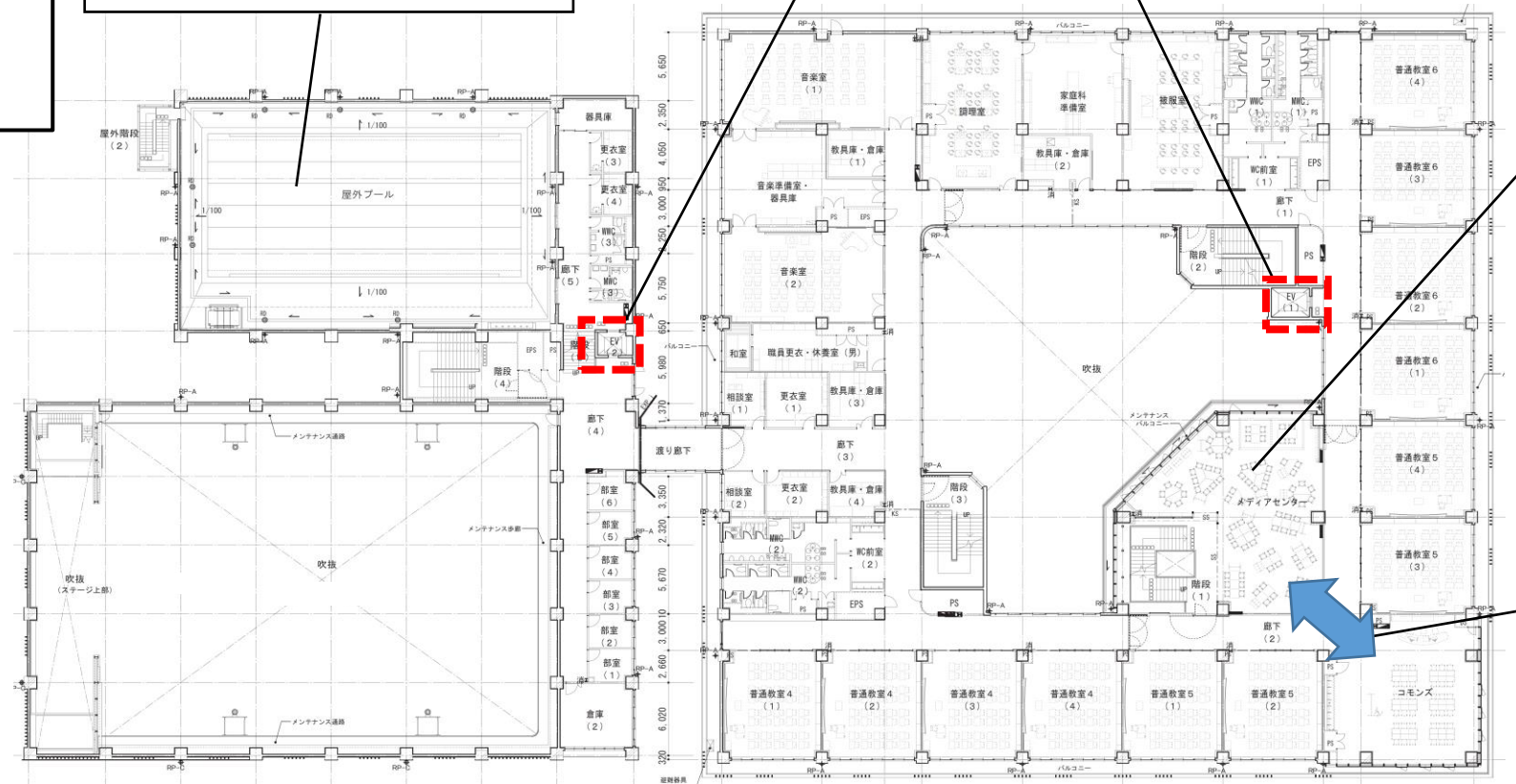
【アリーナ棟】
プール など

屋外プール

- ・25m 6コース
- ・災害時に便所専用用水としても利用できる。

エレベーター

- ・校舎棟、アリーナ棟に1基ずつ設置し、車いす利用者等が安心して移動できる。



3階メディアセンター

- ・様々な学習に対応できるように机を配置したレイアウトで、グループワークや、調べ学習、プレゼンテーションなど、柔軟かつ創造的な学びを実践する。
- ・学校内の情報をオンラインで各クラスに伝える拠点となる。
- ・他クラス、異学年の仲間と話し合いながら協働的な学習を行う。

3階メディアセンターとコモンズの一体利用

可変性のある机、ホワイトボードに加え、タブレット端末やプロジェクターなど ICT 機器等も活用し、対話や討論、発表をしながら学習を進める環境を整備する。

【想定している教育内容】

- ・調べた資料を持ち寄ってのグループワーク・グループディスカッション
- ・まとめた内容を皆の前でプレゼンテーション
- ・外国や他校の児童生徒とのオンラインでの意見交換などの幅広い交流

など様々な学習活動の拠点となる。



【4階平面図】 7～9年生の普通教室を配置

【校舎棟】

7～9年生の普通教室、特別支援学級（中学校）、メディアセンター・コモンズ、理科室、パントリー など

中学校特別支援学級

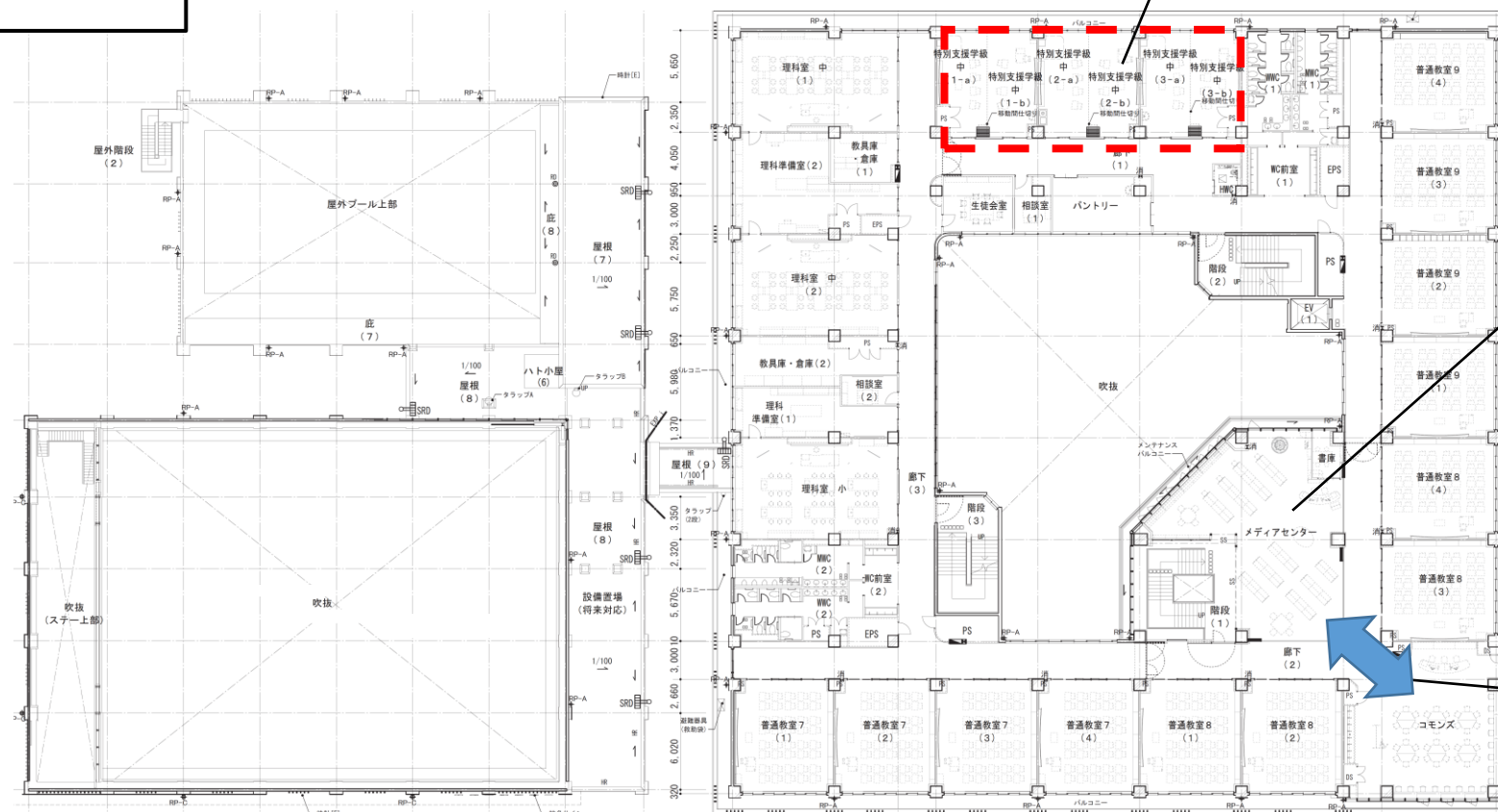
・それぞれの教室は可動間仕切りとなっており、状況に応じて柔軟な運用が可能。

4階メディアセンター

- ・ 学校図書（主に中学校用図書）やタブレット端末など ICT 機器を利用して、課題を探究し、主体的かつ創造的で多様な調べ学習を行う。
- ・ 小学校高学年も利用可能で、中学校用の図書を活用し、専門的な調べ学習を可能とする。
- ・ 廊下側の壁をなくし、開放的な空間にすることで、子どもたちの生活空間に溶け込み、自然と本に触れることができ、普段から本が身近になる教育環境を創出。

4階メディアセンターとコモンズの一体利用

- ・ メディアセンターで収集した知識・情報・資料をもとにグループワークを行ったり、まとめた内容をプレゼンテーションしたりと多様な学習が行える。
- ・ メディアセンターとコモンズを一体利用することで「みんなと調べる」「話し合う」「まとめる・発表する」といった学習を効果的に行える。
- ・ 交流、実習、談笑に加え、講演・研修など新たな学びにより情報活用能力や課題解決能力を高める。



メディアセンター4階（イメージ）

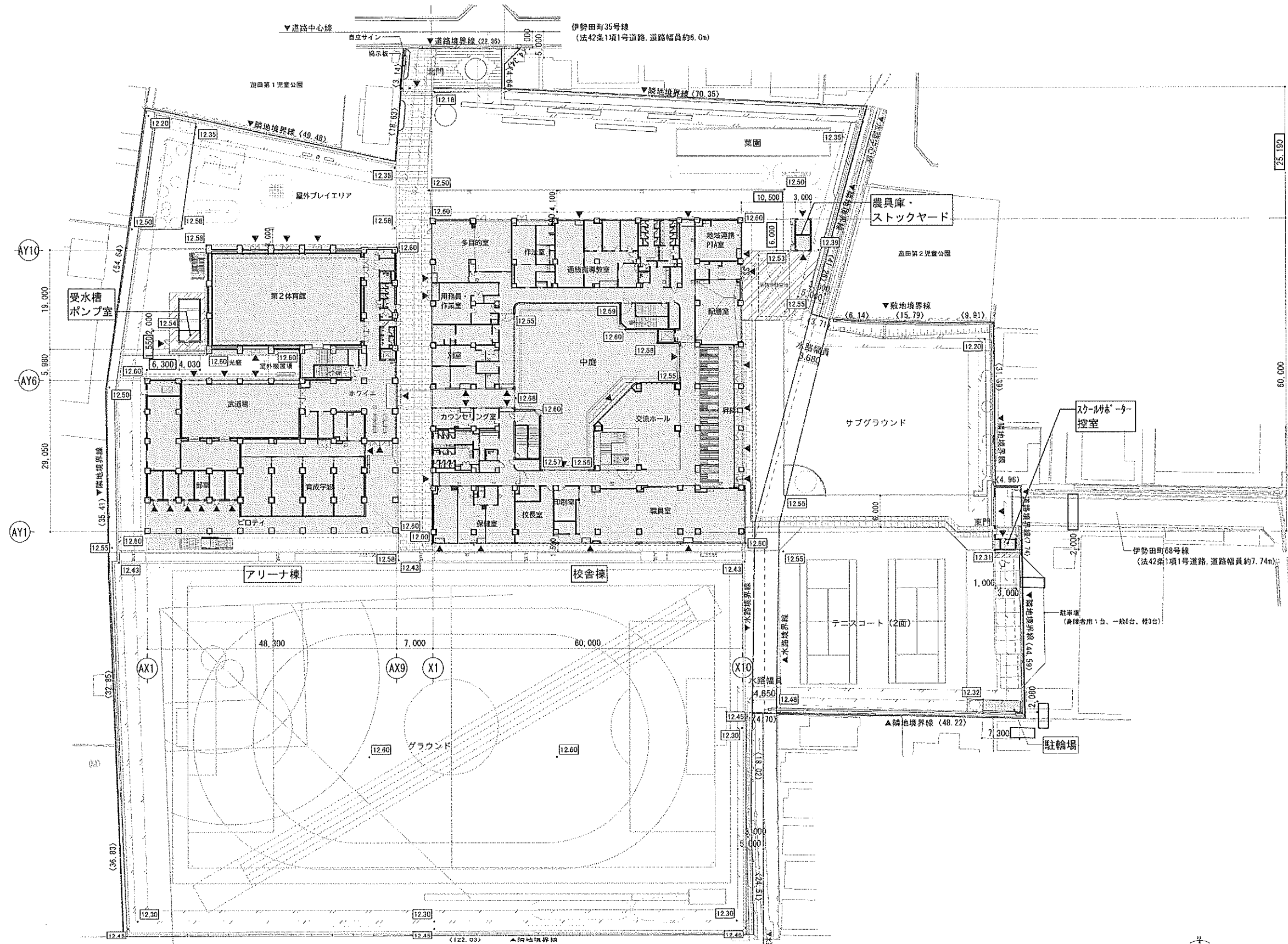


●工事工程計画

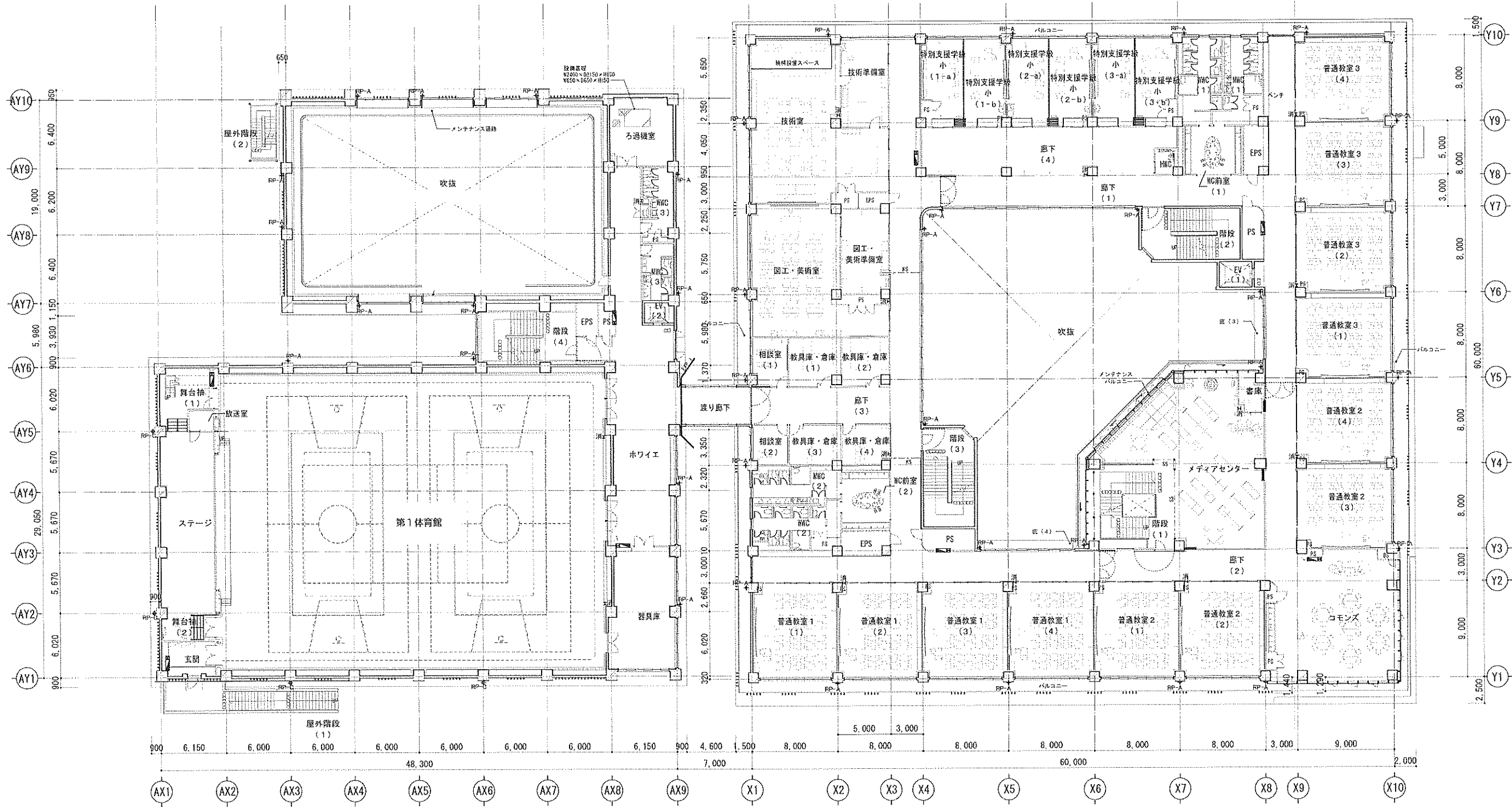
年度	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度																	
月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
先行工事	→ 仮橋設置																		→ 仮橋撤去工事											
I期工事				→ 新校舎建築工事、サブグラウンド整備、北側外構整備 体育倉庫・武道場解体																										
II期工事													→ 旧校舎・旧屋内運動場解体工事 メイングラウンド、テニスコート等整備工事																	

小
中
一
貫
校
開
校

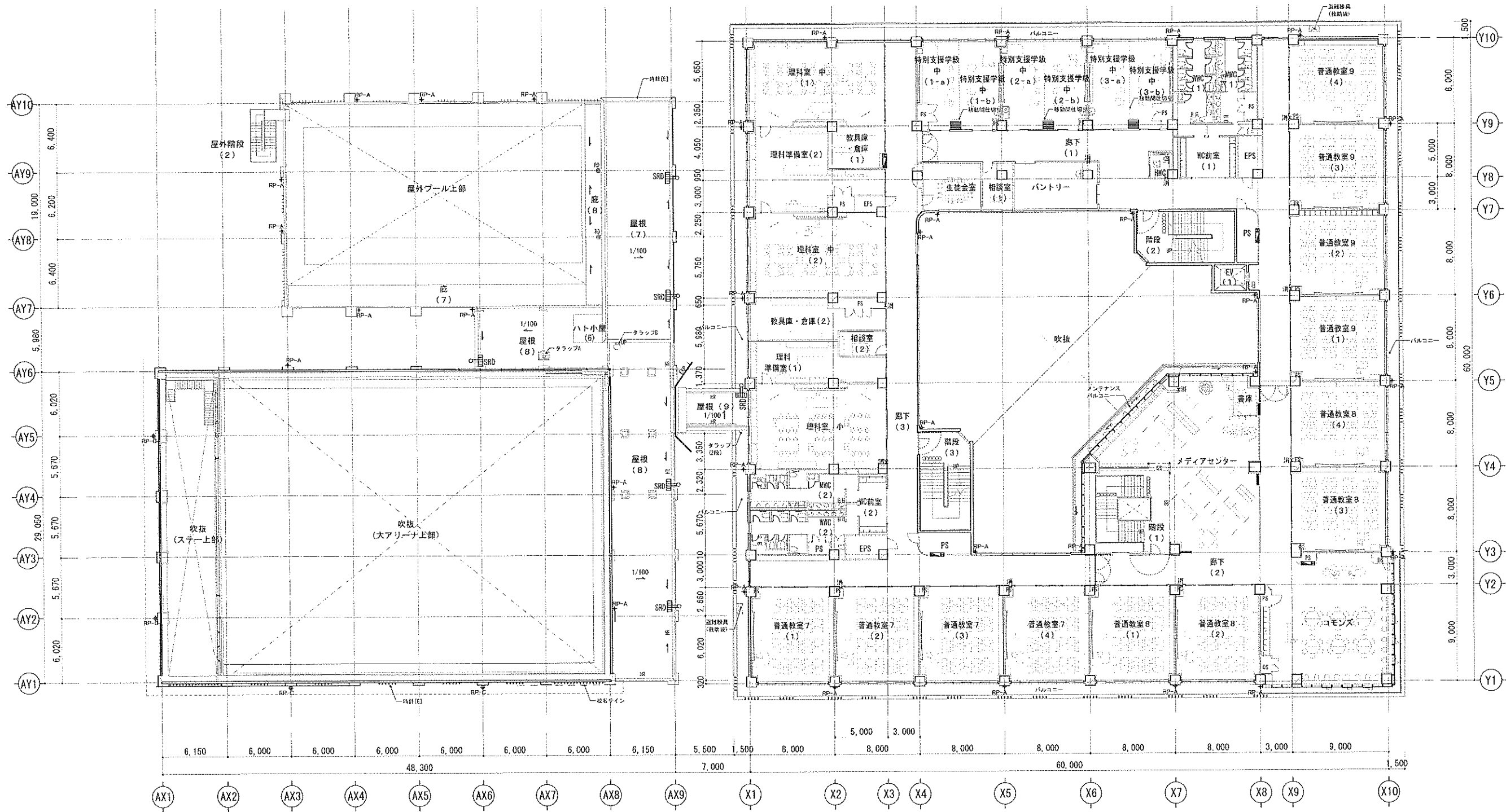
→
引っ越し等



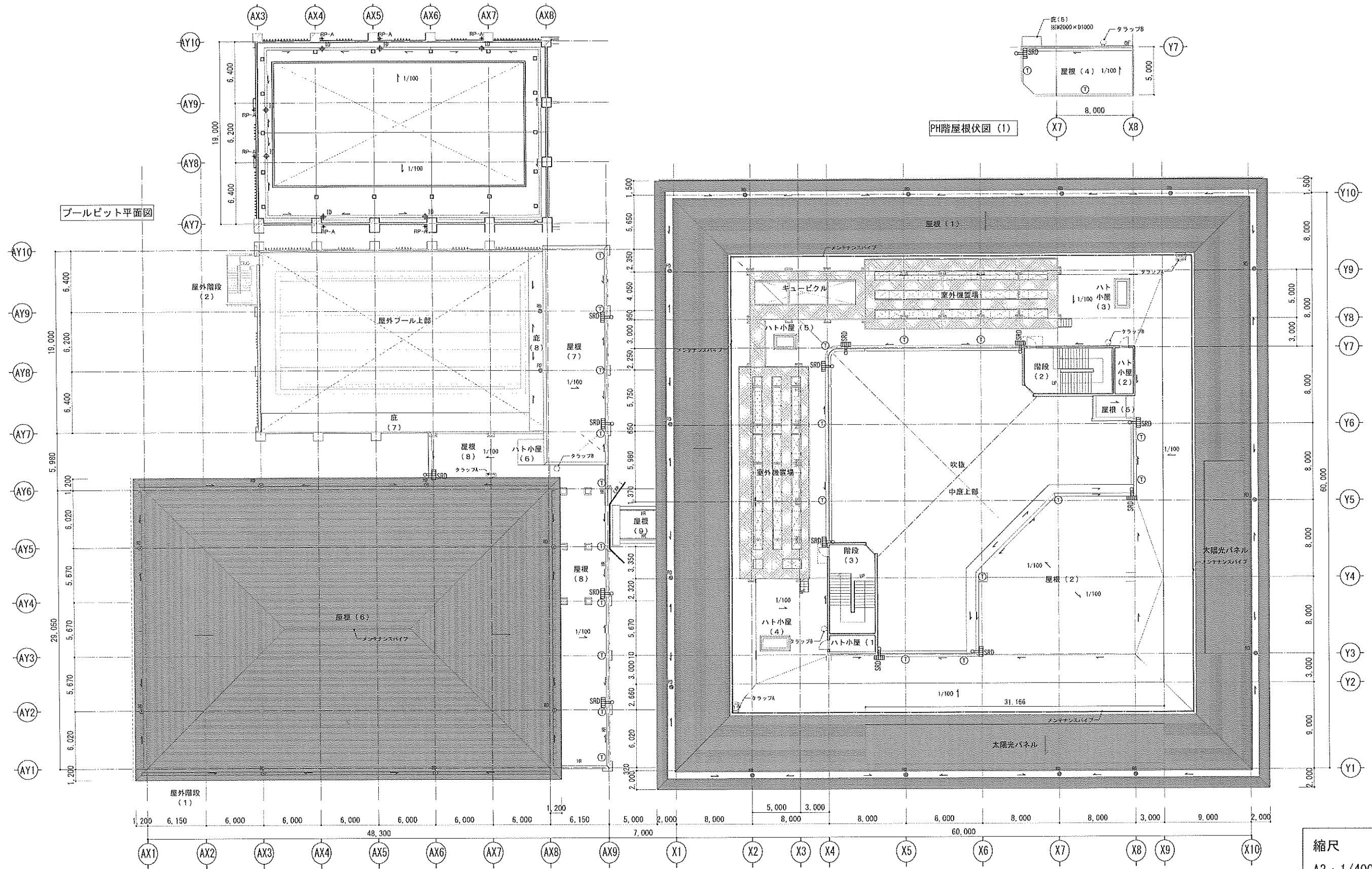
縮尺
A3 : 1/800



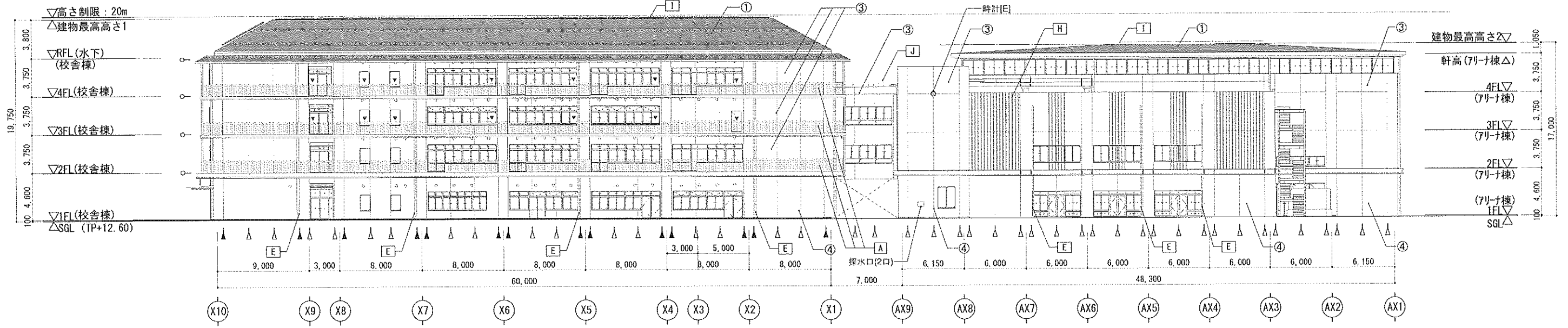
縮尺
A3 : 1/400



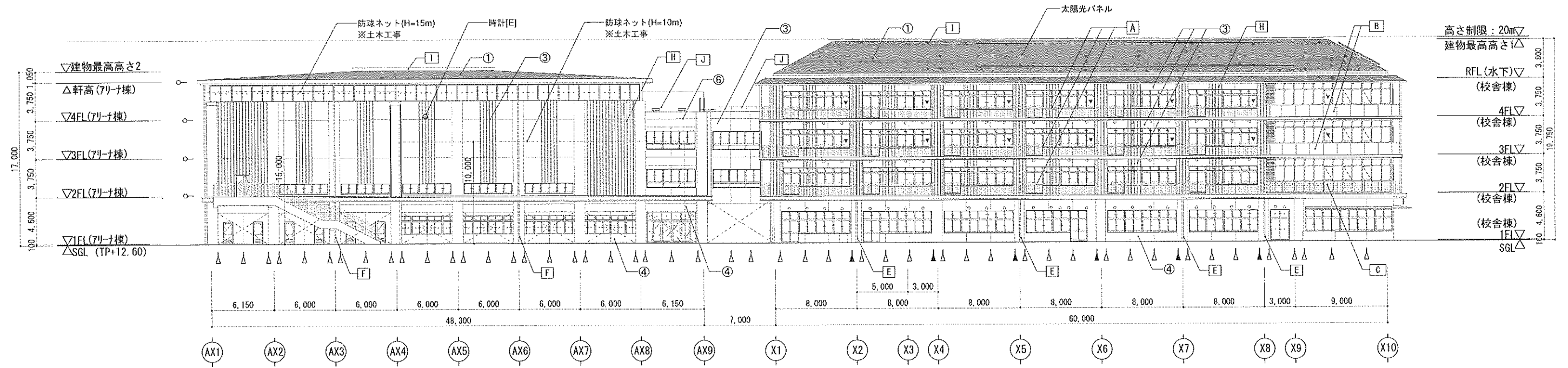
縮尺
A3 : 1/400



縮尺
A3 : 1/400

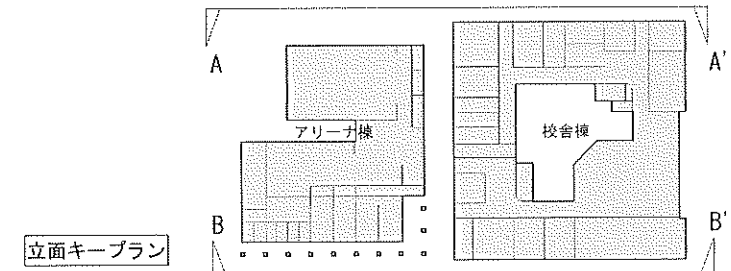


A-A' 北立面図

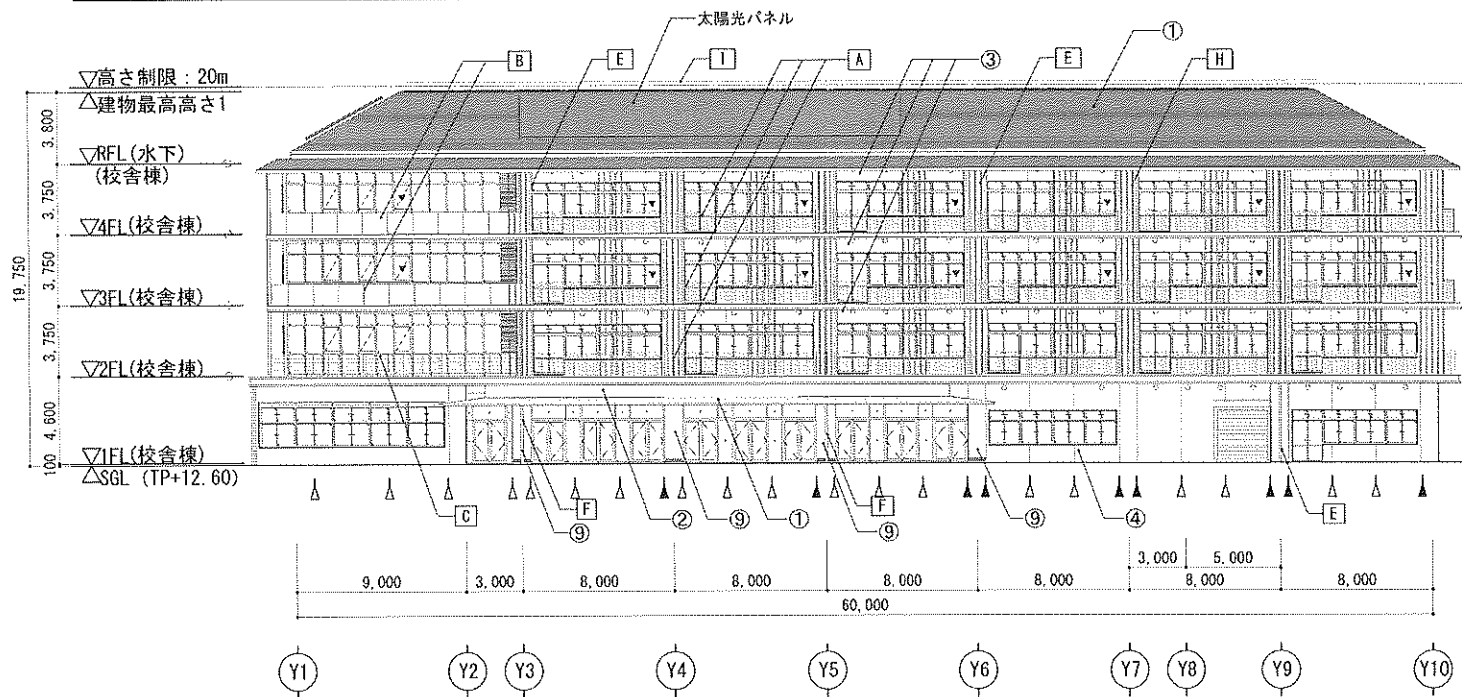


B'-B' 南立面図

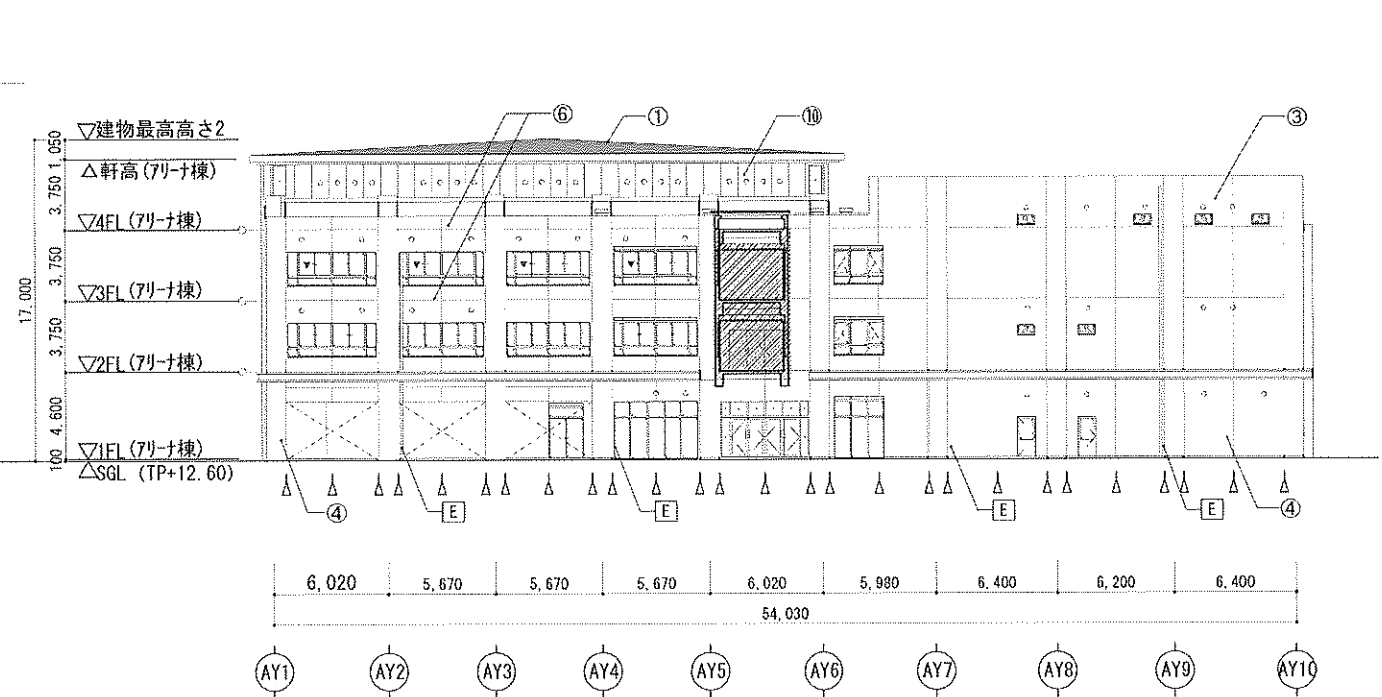
縮尺
A3 : 1/400



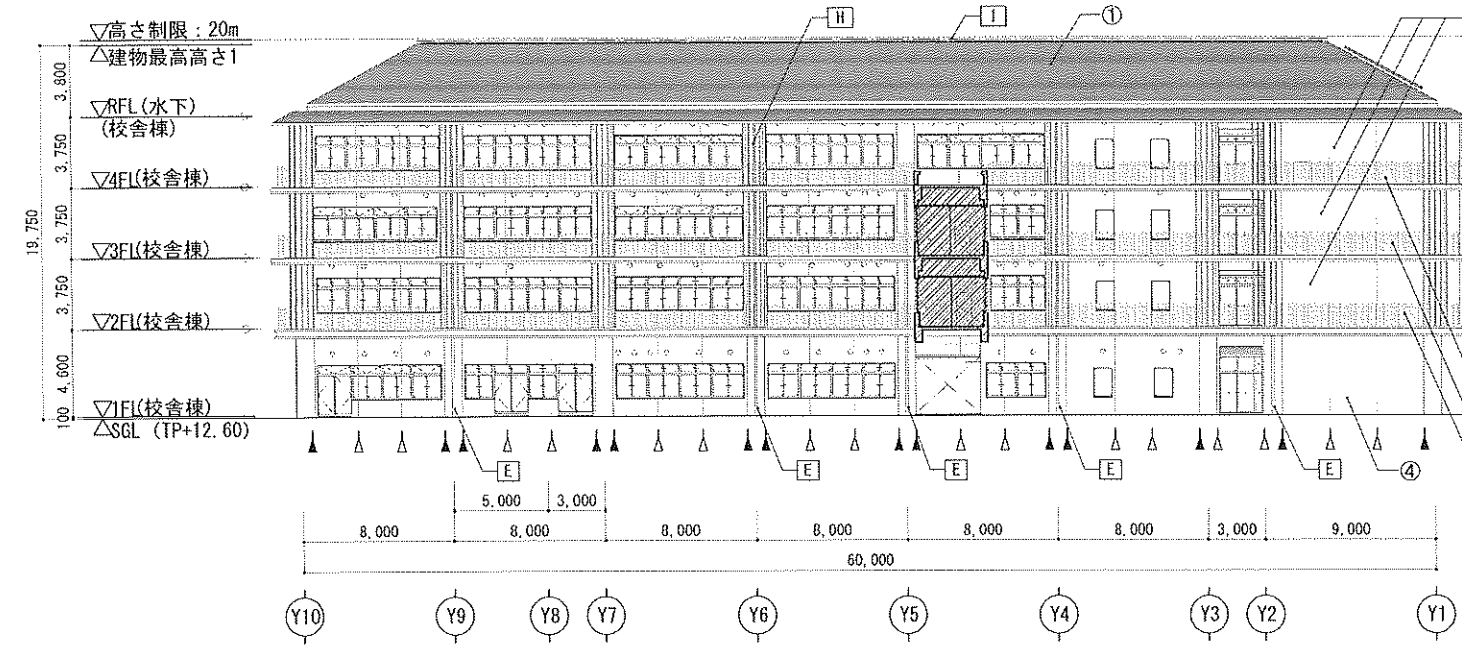
凡例	(仕上げ)	(機)
▼ 代器出入口	① カラーガルバリウム屋根	⑥ RC-B (吹付D) ※7リナ棟 (2-4F-2F)
▶ 設置スリット	② アルミ系バンドレール	⑦ RC-B (吹付E) ※中庭 (EV外壁)
○ びび耐熱透気目地	③ RC-B (吹付A) ※2-4F外壁	⑧ RC-B (吹付F) ※中庭 (階母外壁)
○ 打設目地	④ RC-B (吹付B) ※1F外壁	⑨ 壁スタイルEA
○ ベントキャップ	⑤ RC-B (吹付C) ※中庭外壁	⑩ 覆設まげE
		⑪ 屋外手摺A
		⑫ 屋外手摺B
		⑬ 屋外手摺C
		⑭ 屋外手摺D
		⑮ 屋上手摺
		⑯ 壁種C (アルミ角柱)
		⑰ 取ルーパー
		⑱ メンテナンスパイプ
		⑲ 壁種A (カラーVP)



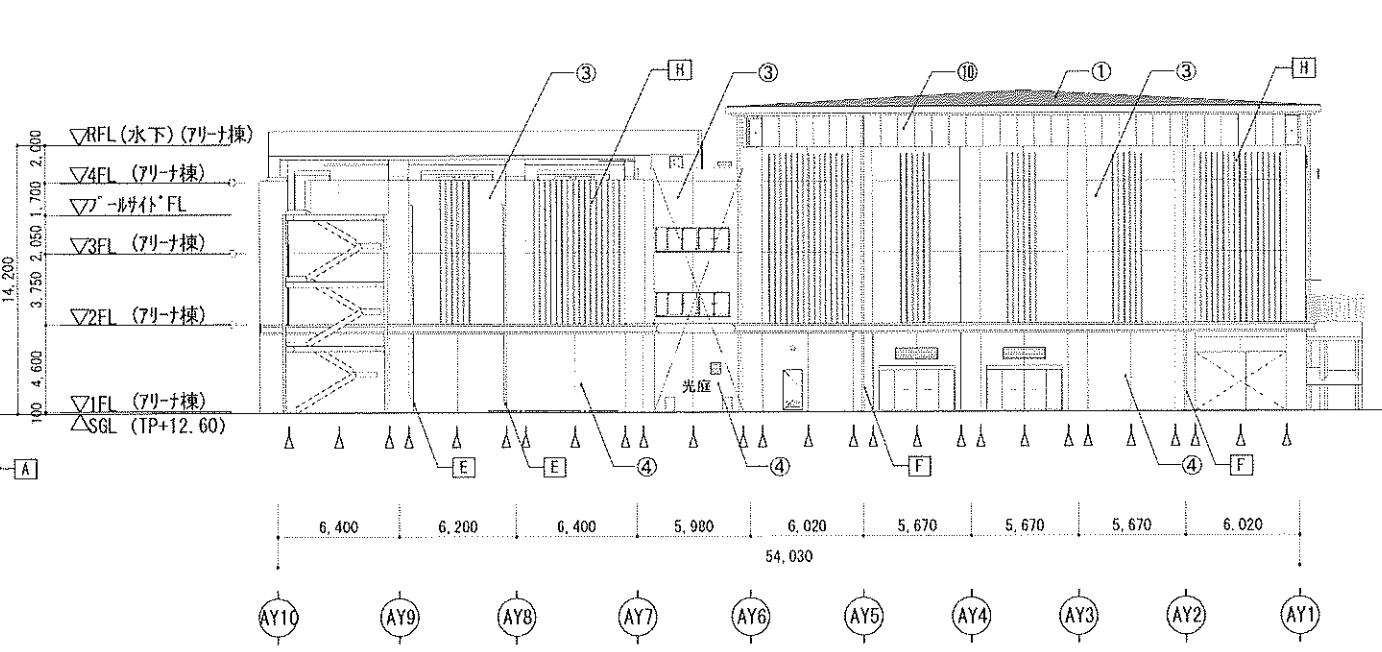
C-C' 校舎棟 東立面図



E-E' アリーナ棟 東立面図



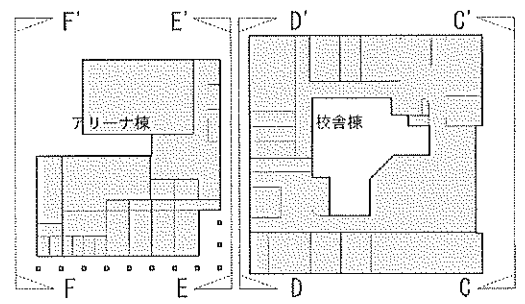
D-D' 校舎棟 西立面図

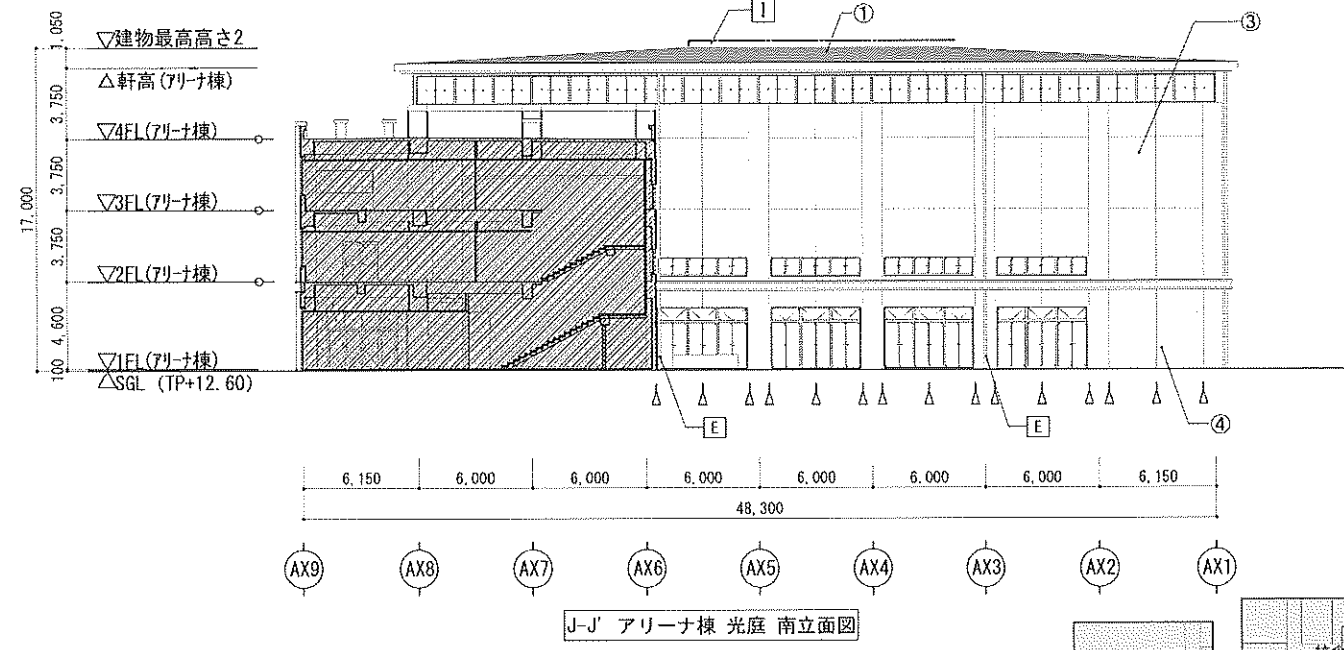
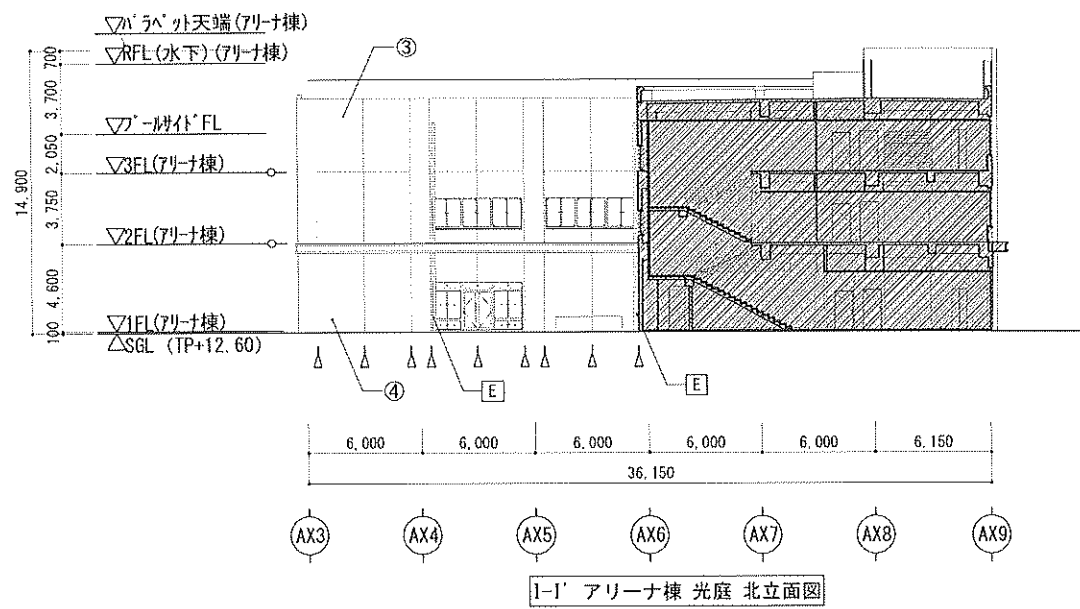
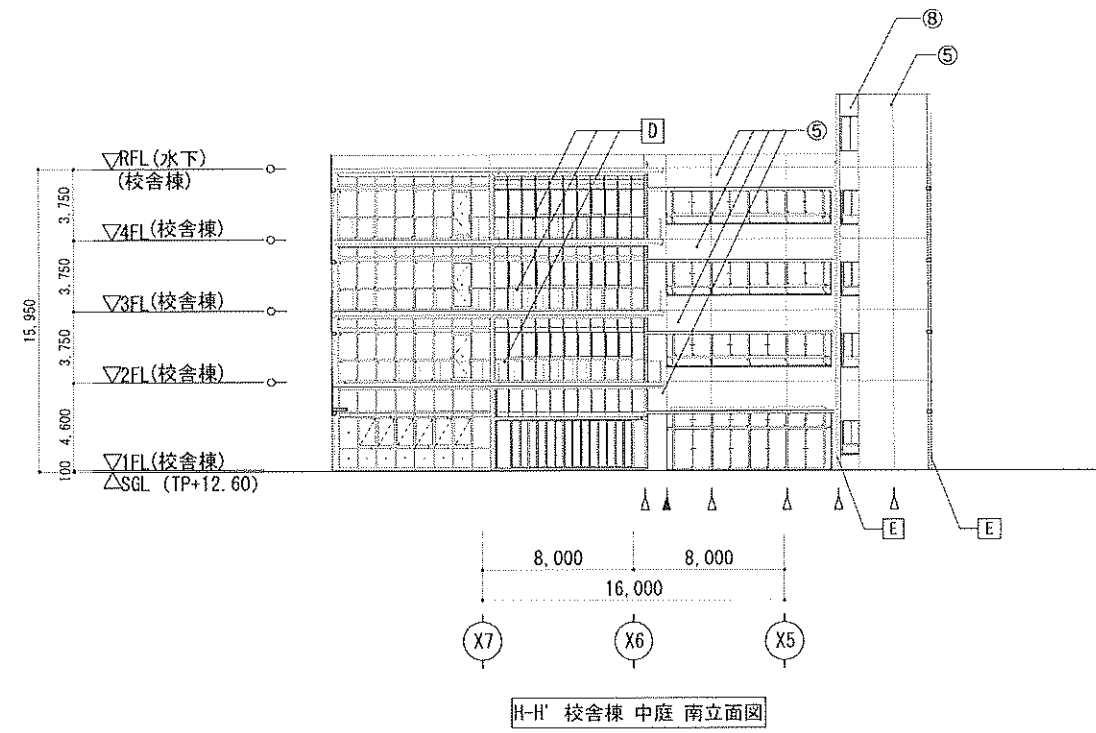
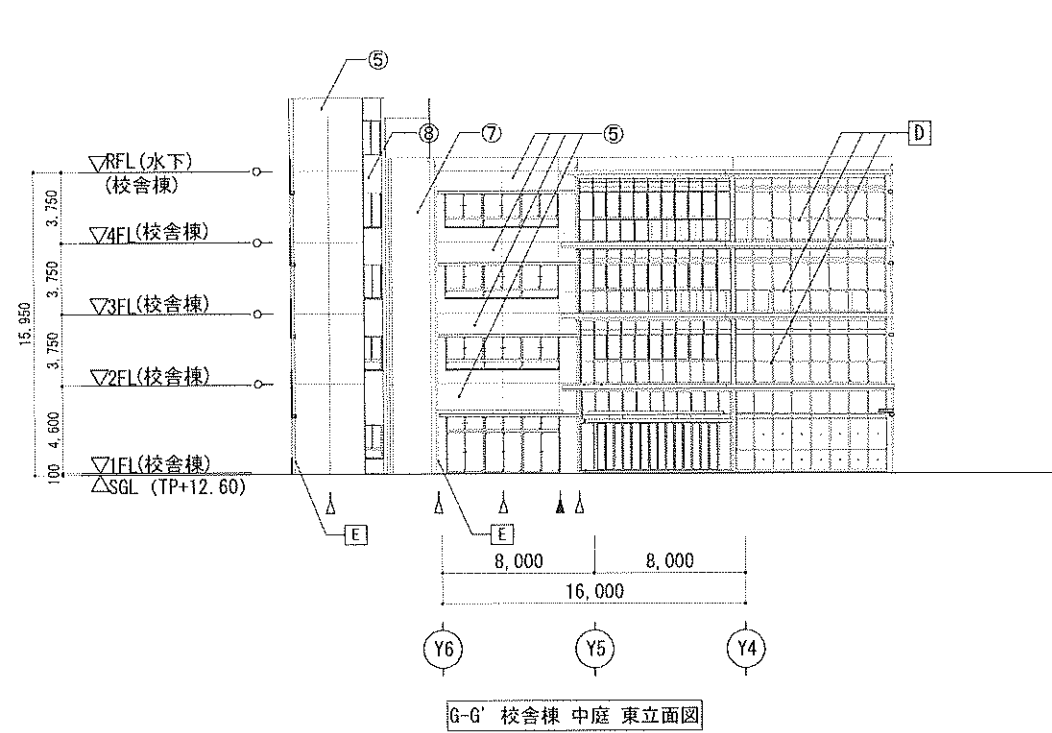


F-F' アリーナ棟 西立面図

縮尺
A3 : 1/400

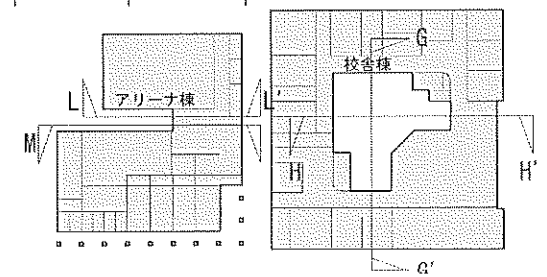
立面キープラン

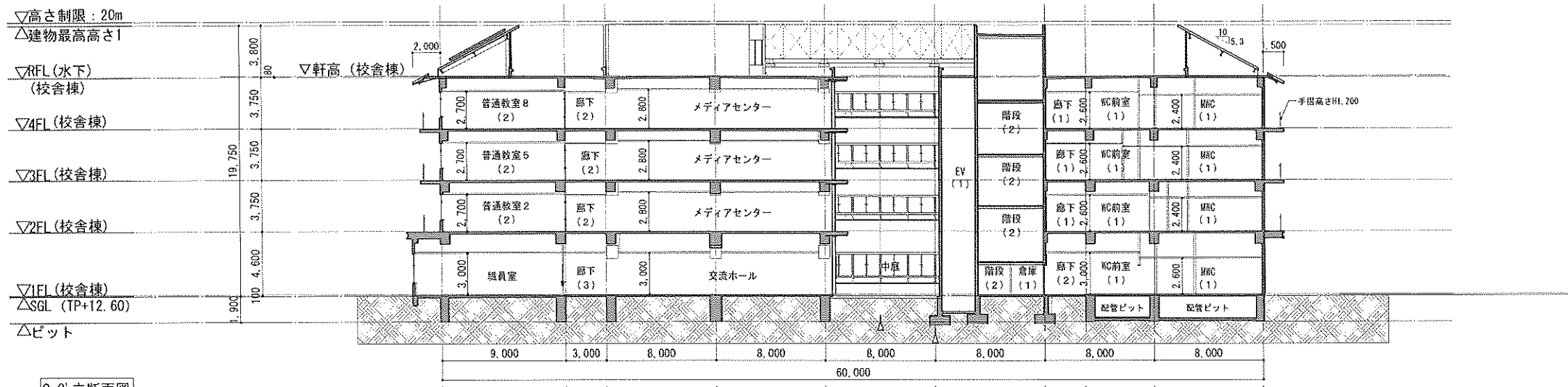




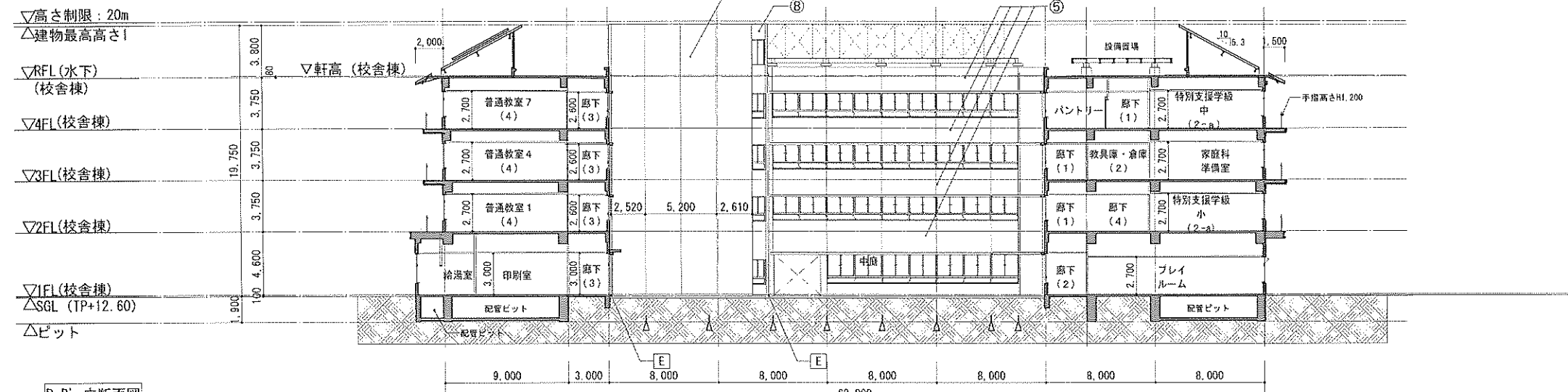
縮尺
A3 : 1/400

立面キープラン

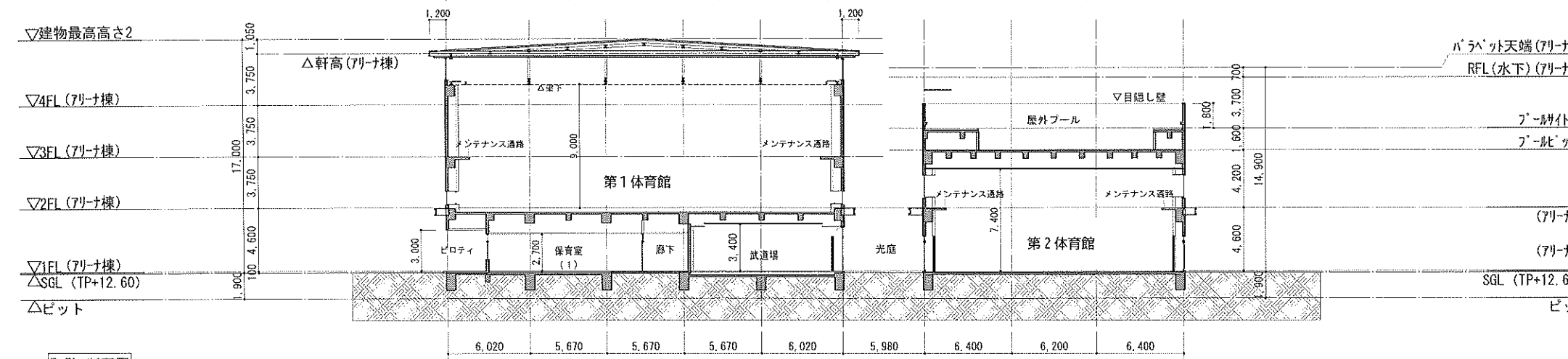




C-C' 立断面図



D-D' 立断面図



E-E' 断面図

